

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|--------------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | 美容ベーシックA - I | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 美容ベーシックA - I | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 60 |
| 使用教材 | 美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験第2 課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上りのベースを理解して身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験第2 課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト50% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師免許 | | | | |
| 関連科目 | 美容ベーシックB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 板橋 喜子 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 仙台市内美容サロンにてスタイリストとして勤務。現在個人サロン経営 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------|---|
| 1 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 2 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 3 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 4 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 5 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 6 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 7 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 8 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |

| | | |
|----|---------------|---|
| 9 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 10 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 11 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 12 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 13 | オールウェーブセッティング | テスト |
| 14 | 総合授業 | 振り返り |
| 15 | 総合授業 | 振り返り |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|---------------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | 美容ベーシックA - II | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 美容ベーシックA - II | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 60 |
| 使用教材 | 美容師国家試験 第2 課題教材一式 改正美容師実技試験課題「衛生と技術の解説」 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|--|------|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験第2 課題について基本姿勢、知識及び構成、時間、仕上がりのベースを理解して身に付ける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験第2 課題技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト50% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師免許 | | | | |
| 関連科目 | 美容ベーシックB | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------------------------|--|
| 1 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 2 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 3 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 4 | オートウェーブセッティング | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティング4H |
| 5 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 6 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 7 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |

| | | |
|----|----------------------------|--|
| 8 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 9 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 10 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 11 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 12 | オートウェーブセッティング (ワインディング) | 美容衛生（技術における衛生上の取り扱い） オールウェーブセッティングまたワインディング4H |
| 13 | 総合授業 | 総合授業 |
| 14 | 総合授業 | 振り返り |
| 15 | 総合授業 | 振り返り |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-----------------|--------|-------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 基礎理論Ⅰ | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 基礎理論Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 美容技術理論1 美容技術理論2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 馬淵 寿美絵 他3名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 青森市内の美容サロンにてスタイリストとして勤務、店長・取締役を経験。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--|--|
| 1 | << 8章 エステティック >> 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング | ・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング |
| 2 | 4. 美容におけるマッサージ理論 5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマッサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマッサージ | ・基本手技・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント |
| 3 | << 9章 ネイル技術 >> 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング | ・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング |

| | | |
|----|--|---|
| 4 | 7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマッサージ | ・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順 |
| 5 | ≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ | ・メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング |
| 6 | 8. アイメイクアップ 9. アイブrouメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュオンメイクアップ 12. まつ毛エクステンション | アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュオンメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例 |
| 7 | 総まとめ | テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題 |
| 8 | ≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和 | ・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和 |
| 9 | 5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 9. かつら | ・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ) |
| 10 | ≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方 | ・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方 |
| 11 | 9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術 | ・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術 |
| 12 | 14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識) | ・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁 |
| 13 | まとめ | まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題 |
| 14 | 解説 | まとめの振り返り・解説 |
| 15 | 美容技術理論Ⅱ 総まとめ | 美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-----------------|--------|-------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 基礎理論Ⅱ | | |
| 必修選択 | 必修 | (学則表記) | 基礎理論Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 美容技術理論1 美容技術理論2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「美容技術理論」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------|--|
| 1 | 美容技術理論Ⅰ 序章・1章 | 美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り |
| 2 | 美容技術理論Ⅰ 2章・3章 | シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り |
| 3 | 美容技術理論Ⅰ 4章・5章 | ヘアカッティング・パーマネントウエービング 重点項目振り返り |
| 4 | 美容技術理論Ⅰ 6章・7章 | ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り |
| 5 | 美容技術理論Ⅰ 総まとめ | 美容技術理論Ⅰ まとめを行う |
| 6 | 対策 | 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習 |
| 7 | まとめ | まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題 |
| 8 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 9 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |

| | | |
|----|--------|------------------|
| 10 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 11 | まとめ | 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習 |
| 12 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 13 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 14 | 国家試験対策 | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------------|--------|---------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅰ-Ⅰ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅰ-Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 衛生管理1 衛生管理2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 佐々木 美麻 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 看護師として病院勤務5年、訪問看護1年、看護老人保健施設4年、塾講師4年、リハビリデイケア1年 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|------------------------------------|--|
| 1 | オリエンテーション 1編 公衆衛生 1章 公衆衛生の概要 | 美容師免許を所持する上での必要性、取得までの流れ 筆記試験の問題形式・問題数・問題傾向の説明 「公衆衛生の意義と課題」「公衆衛生発展の歴史」「理容師・美容師と公衆衛生」「保健所と理容業・美容業」の復習 |
| 2 | 1編 公衆衛生 2章 保健① | 「母子保健」「成人・高齢者保健」①の復習 |
| 3 | 1編 公衆衛生 2章 保健② | 「成人・高齢者保健」②「精神保健」の復習 |
| 4 | 1編のまとめ 2編 環境衛生 1章 環境衛生① | 単元テストを実施、振り返り・解説 「環境衛生の概要」「空気環境」の復習 |
| 5 | 2編 環境衛生 1章 環境衛生② | 「衣服・住居の衛生」「上下水道と廃棄物」の復習 |
| 6 | 2編 環境衛生 2章 環境衛生③ | 「衛生害虫とネズミ」「環境保全」の復習 |
| 7 | 2編のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論① | 単元テストを実施、振り返り・解説 「人と感染症」の復習 |
| 8 | 3編 感染症 1章 感染症の総論② | 「病原微生物」の復習 |

| | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 9 | 感染症の総論①のまとめ 3編 感染症 1章 感染症の総論③ | 感染症の総論① 単元テストを実施→振り返り・解説 「感染症の予防」の復習 |
| 10 | 感染症の総論②のまとめ 3編 感染症 2章 感染症の各論① | 感染症の総論② 単元テストを実施→振り返り・解説 「空気・飛沫を介して感染する感染症」の復習 |
| 11 | 3編 感染症 2章 感染症の各論② | 「飲食物を介して感染する感染症」の復習 「血液等を介して感染する感染症」の復習 |
| 12 | 3編 感染症 2章 感染症の各論③ | 「動物・節足動物を介して感染する感染症」の復習 「具体的な対策の例」の復習 |
| 13 | 感染症の各論のまとめ 3編の総まとめ | 感染症の各論 単元テストを実施→振り返り・解説 3編の総まとめを実施する |
| 14 | テスト | テストを実施する |
| 15 | 総合授業 | テストを返却、振り返り・解説 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅰ - Ⅱ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅰ - Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 衛生管理1 衛生管理2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|-----------------------------------|--|------|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「衛生管理」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--|---|
| 1 | 第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論① | 「消毒法とは」「消毒の意義」の復習 「理容・美容の業務と消毒との関係」の復習 |
| 2 | 第4編 衛生管理技術 1章 消毒法総論② 消毒法総論まとめ | 「消毒法と適用上の注意」の復習 単元テストを実施、振り返り・解説 |
| 3 | 第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論① | 「理学的消毒法・化学的消毒法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習 |
| 4 | 第4編 衛生管理技術 2章 消毒法各論② 消毒法各論まとめ | 「理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法」の復習 「すぐれた消毒法と実施上の注意」の復習 単元テストを実施、振り返り・解説 |
| 5 | 第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習① | 「各種消毒薬」（消毒液の概要、器具の使い方、常備しておくとい消毒薬と希釈液の濃度、消毒薬希釈液法）の復習 |
| 6 | 第4編 衛生管理技術 3章 消毒法実習② | 「理容所・美容所の消毒の実際」①（理容所・美容所における消毒の原則、消毒設備、器具類の消毒法、理容師・美容師の手指の消毒）「理美容所の清潔法の実際」②（清潔保持と清掃、洗剤による清浄法、洗い場の構造と清潔保持、清掃、刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒、ハエヤカなどの駆除） |
| 7 | 消毒法実習まとめ 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領① | 単元テストを実施、振り返り・解説 第1 目的～第4 衛生的取り扱い等① |
| 8 | 第5編 衛生管理の実践例 1章 衛生管理要領② | 第1 目的～第4 衛生的取り扱い等② 第5 消毒～第6 自主的管理体制 |

| | | |
|----|------------------------|--------------------------------------|
| 9 | 衛生管理の実践例まとめ 4編の総まとめ | 単元テストを実施、振り返り・解説 まとめを実施する。振り返り・解説 |
| 10 | テスト | テストを実施する |
| 11 | 国試過去問演習① | テストを返却、振り返り・解説 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 12 | 国試過去問演習② | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 13 | 国試過去問演習③ | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 14 | 国試過去問演習④ | 美容師国家試験過去問の演習と解説 |
| 15 | 総合授業 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅱ - Ⅰ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅱ - Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 保健1 保健2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域（2編皮膚科学）に関する正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 板橋 喜子 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 仙台市内サロンにてスタイリストとして勤務。現在個人サロン経営 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------------------|--|
| 1 | 人体の構造および機能の復習 (第1章～2章) | 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説 |
| 2 | 人体の構造および機能の復習 (第3章～4章) | 筋系、神経系の演習（国家試験過去問題）と解説 |
| 3 | 人体の構造および機能の復習 (第5章～7章) | 感覚器、血液、循環器系の演習（国家試験過去問題）と解説 |
| 4 | 人体の構造および機能の復習 (第8章～9章) | 呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説 |
| 5 | 皮膚科学（第1章） | 皮膚の構造 |
| 6 | 皮膚科学（第2章） | 皮膚付属機関の構造 1項 毛 |
| 7 | 皮膚科学（第2章～3章） | 皮膚付属器官の構造 2項脂腺 3項汗腺 4項爪 皮膚の循環器系と神経系 |
| 8 | 皮膚科学（第4章） | 皮膚と付属器官の生理機能 |
| 9 | 総まとめ | テストを実施する |

| | | |
|----|-----------------|--|
| 10 | 皮膚科学（第5章） | 皮膚と皮膚付属器官の保健 |
| 11 | 皮膚科学（第6章） | 皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項皮膚炎・湿疹・3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患 |
| 12 | 皮膚科学（第6章） | 皮膚と皮膚付属器官の疾患 6項温熱・寒冷による皮膚障害 7項角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 血管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患 |
| 13 | 皮膚科学（第6章） | 皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍 |
| 14 | 総まとめ | テストを実施する |
| 15 | 解説 皮膚科学（第6章） | 振り返り・テスト解説 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅱ - Ⅱ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅱ - Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 保健1 保健2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題のうち、保健領域（2編皮膚科学）に関する正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準に到達する知識力の修得を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------------|-----------------------------------|
| 1 | 皮膚科学の復習（第1～2章） | 皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説 |
| 2 | 皮膚科学の復習（第2章～4章） | 皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説 |
| 3 | 皮膚科学の復習（第5章） | 皮膚と付属器官の保健の演習と解説 |
| 4 | 皮膚科学の復習（第6章） | 皮膚と付属器官の疾患の演習と解説 |
| 5 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 6 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 7 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 8 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 9 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |

| | | |
|----|--------|-----------------------------------|
| 10 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 11 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 12 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 13 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 14 | 国家試験対策 | 国家試験過去問、全国・校内模試の見直し、グループワーク等による復習 |
| 15 | 国家試験対策 | 国家試験前重要ポイント復習 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅲ - Ⅰ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅲ - Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 化粧品化学1 化粧品化学2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|------------------------------------|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「化粧品化学」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 加藤比紗子 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 中学、高等学校、理科講師。日本化粧品検定コスメコンシェルジュ。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------------|--|
| 1 | イントロダクション 1章 化粧品概論 | 美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する |
| 2 | 1章 化粧品概論 | 「化粧品とは何か」「薬機法とは何か」「美容師との関係は？」 |
| 3 | 2章 化粧品原料 | 「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料」の解説と演習 |
| 4 | 2章 化粧品原料 | 「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習 |
| 5 | 2章 化粧品原料 | 「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習 |
| 6 | 3章 基礎化粧品 | 「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習 |
| 7 | 4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品 | 「メイクアップ化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習 |
| 8 | まとめ | まとめを行う |
| 9 | 5章 頭皮・毛髪用化粧品 | 「スタイリング剤」の解説と演習 |

| | | |
|----|---------------|-------------------------|
| 10 | 5章 頭皮・毛髪用化粧品 | 「パーマ剤」の解説と演習 |
| 11 | 5章 頭皮・毛髪用化粧品 | 「ヘアカラー」の解説と演習 |
| 12 | 6章 芳香製品と特殊化粧品 | 「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習 |
| 13 | 6章 芳香製品と特殊化粧品 | 「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習 |
| 14 | まとめ | まとめを行う |
| 15 | 解説 | 振り返り・解説 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅲ - Ⅱ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅲ - Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 30 |
| 使用教材 | 化粧品化学1 化粧品化学2 | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|------------------------------------|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験筆記試験課題の「化粧品化学」の正しい知識を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験筆記試験合格基準を目指す。 | | | | |
| 評価基準 | テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|------------------------------|--|
| 1 | 付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2 | 「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習 |
| 2 | 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5 | 「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習 |
| 3 | 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7 | 「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習 |
| 4 | 化粧品化学 | 「化粧品分野」重点項目の復習と確認 |
| 5 | 化粧品化学 | 「化粧品分野」重点項目の復習と確認 |
| 6 | 化粧品化学 | 「化粧品分野」重点項目の復習と確認 |
| 7 | 化粧品化学 | 「化学分野」重点項目の復習と確認 |
| 8 | 化粧品化学 | 「化学分野」重点項目の復習と確認 |
| 9 | 化粧品化学 | 「化学分野」重点項目の復習と確認 |

| | | |
|----|--------|----------------|
| 10 | まとめ | まとめを行う |
| 11 | 国家試験対策 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| 12 | 国家試験対策 | 国家試験対応問題の演習と解説 |
| 13 | 国家試験対策 | 国家試験対応問題の演習と解説 |
| 14 | 国家試験対策 | 国家試験対応問題の演習と解説 |
| 15 | 国家試験対策 | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--------------------------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅳ - Ⅰ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅳ - Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 関係法規・制度 1 関係法規・制度 2 (美容) | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。 | | | | |
| 到達目標 | 美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる | | | | |
| 評価基準 | テスト (小テスト等含む) : 75% 授業態度 (提出物等含む) : 25% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 三浦 敏彦 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------------------|---|
| 1 | イントロダクション 第1章・第2章の復習 | 国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 成績・評価の説明 第1章・第2章の復習 |
| 2 | 第3章の復習 | 第3章1節～3節「美容師になるまで」の復習 |
| 3 | 第3章の復習 | 第3章3節「美容師に求められる義務」～「管理美容師」の復習 |
| 4 | 第3章 理容師法・美容師法 第4節 | 美容所の開設に必要な届出・検査 |
| 5 | 第3章 理容師法・美容師法 第4節 | 開設者が求められる義務および美容所以外での業務 |
| 6 | 第3章 理容師法・美容師法 第5節 | 立入検査と環境衛生監視員 |
| 7 | まとめ | まとめを行う |
| 8 | 解説・まとめ | 振り返り・解説 |

| | | |
|----|-------------------|----------------------|
| 9 | 第3章 理容師法・美容師法 第6節 | 違反者に対する行政処分 |
| 10 | 第3章 理容師法・美容師法 第7節 | 違反者に対する罰則 |
| 11 | 第4章 関連法規 | 美容業の衛生に関する関連法規 |
| 12 | 第4章 関連法規 | 美容業の振興に関する関連法規 |
| 13 | 第4章 関連法規 | 美容業の雇用、消費者保護に関する関連法規 |
| 14 | まとめ | まとめを行う |
| 15 | 解説・総まとめ | 振り返り・解説 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|------------------------|--------|-----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅳ - Ⅱ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅳ - Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 関係法規・制度1 関係法規・制度2 (美容) | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。 | | | | |
| 到達目標 | 美容業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、美容師国家試験筆記試験「関係法規」の合格基準を満たすことができる。 | | | | |
| 評価基準 | テスト (小テスト等含む) : 75% 授業態度 (提出物等含む) : 25% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------------------|---------------------|
| 1 | 第1章 第2章の復習 | ワークブックを用いて問題演習 |
| 2 | 第3章の復習(1) | ワークブックを用いて問題演習 |
| 3 | 第3章の復習(2) | ワークブックを用いて問題演習 |
| 4 | 第3章の復習(3)・第4章の復習(1) | ワークブックや国家試験を用いて問題演習 |
| 5 | 第4章の復習(2) | ワークブックや国家試験を用いて問題演習 |
| 6 | まとめ | まとめを行う |
| 7 | 解説・まとめ | 振り返り・解説 |
| 8 | 総復習(1) | 国家試験過去問演習等 |
| 9 | 総復習(2) | 国家試験過去問演習等 |

| | | |
|----|--------|------------|
| 10 | 総復習(3) | 国家試験過去問演習等 |
| 11 | 総復習(4) | 国家試験過去問演習等 |
| 12 | 総復習(5) | 国家試験過去問演習等 |
| 13 | まとめ | まとめを行う |
| 14 | 解説・まとめ | 振り返り・解説 |
| 15 | 総まとめ | 総まとめを行う |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--------|--------|----------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | コンテストヘアⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | コンテストヘアⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | アレンジ道具 | | 出版社 | なし | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 既存の技術プラス新しい発想を持ち、作品作りに意欲的に取り組む | | | | |
| 到達目標 | コンテスト作品の引き出しを増やし、作品によって全く違う雰囲気を作ることができる | | | | |
| 評価基準 | テスト40%、作品作り40%、提出物20% | | | | |
| 認定条件 | 総合時間数の2/3以上、成績が2以上であること | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | コンテストヘアⅡ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | | | |
| 担当教員 | 田口 夏美 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------|--------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 授業の流れ到達目標 |
| 2 | 基礎知識 | ブロッキング、ピニング、ポニーテール |
| 3 | 様々な編み込み | 三つ編み、四つ編み、編み込み表裏、ツイスト |
| 4 | | フィッシュボーン、フィガーエイト、ウォーターフォール |
| 5 | ベースづくり | カールアイロン、ストレートアイロンを使用したクイックアレンジ |
| 6 | | ホットカーラーを使用したクイックアレンジ |
| 7 | コンテスト導入 | コンテストテーマにより考案、デッサン |

| | | |
|----|-----------|-----------------------------|
| 8 | コンテスト作品作り | ペア作品作り練習 |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | ヘアカラー知識 | ハイライト、スライシング、ブリーチ、リタッチ説明、実践 |
| 13 | | ブリーチ、Wカラー説明、実践 |
| 14 | | インナーカラー、フレーミングカラー、ゼロテク説明、実践 |
| 15 | 筆記、実技テスト | 筆記、実技テスト |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--------|--------|----------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | コンテストヘアⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | コンテストヘアⅡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | アレンジ道具 | | 出版社 | なし | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 既存の技術プラス新しい発想を持ち、作品作りに意欲的に取り組む | | | | |
| 到達目標 | コンテスト作品の引き出しを増やし、作品によって全く違う雰囲気を作ることができる | | | | |
| 評価基準 | テスト40%、作品作り40%、提出物20% | | | | |
| 認定条件 | 総合時間数の2/3以上、成績が2以上であること | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | コンテストヘアⅠ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-------------|-------------------------|
| 1 | アレンジコピースタイル | 作品作りスタイルチェンジ |
| 2 | キッズスタイル | アップスタイル、ダウンスタイルチェンジ |
| 3 | パーマスタイル | スパイラルパーマ説明、実践 |
| 4 | | ツイスト、ツイストスパイラルスタイル説明、実践 |
| 5 | | 様々な巻き方、様々なロッド選定説明、実践 |
| 6 | | |
| 7 | | ペアワークパーマスタイル巻き方説明、実践 |

| | | |
|----|-------------|------------------|
| 8 | | テーマ、コンセプト決め、デザイン |
| 9 | | |
| 10 | 卒業制作 | 作品作り |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | 筆記、実技まとめ | 筆記、実技まとめ |
| 14 | トレンドサロンスタイル | シャンプー、ブロー、スタイリング |
| 15 | | |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------|--------|-----------|-----|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | コンテストメイクⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | コンテストメイクⅠ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | メイク教材 | | 出版社 | なし | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 作品づくりに意欲的に取り組み、既存の技術プラス新しい発想を持てる力を身に付ける | | | | |
| 到達目標 | 今まで得た知識をもとに様々なジャンルのメイクに挑戦し、時間内に収めることができる | | | | |
| 評価基準 | テスト30%、作品作り40%、提出物30% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の2/3以上であること、成績が2以上であること | | | | |
| 関連資格 | 美容国家試験 | | | | |
| 関連科目 | コンテストメイクⅡ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 遊佐 美紅 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | 仙台市内にて、外資系美容部員、メイクアップアーティストとして勤務 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|------------------------------------|-----------------|
| 1 | オリエンテーション | 授業の流れ、到達目標について |
| 2 | 基本知識 | 色・質感・パーツの形のおさらい |
| 3 | 季節メイク（デッサン画） セルフメイク実践 | 季節感のあるメイクデッサン画 |
| 4 | | セルフメイク |
| 5 | Bコン校内コンテストFD導入 デッサン画作成 作品仕込み | BコンFD導入 |
| 6 | | デッサン画作成 |
| 7 | | 作品仕込み（カラーもOK） |
| 8 | | |
| 9 | | |

| | | |
|----|-----------------|-----------------|
| 10 | カラーメイク デッサン画 | 6色は必ず使用しデッサン画作成 |
| 11 | 実践 | 相モデルorセルフメイク |
| 12 | KPコンテスト | KPコンテスト導入 |
| 13 | | コンテスト作品デッサン |
| 14 | | コンテスト作品練習 |
| 15 | | コンテスト作品実践・撮影 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|-------|--------|-----------|---|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | コンテストメイクⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | コンテストメイクⅡ | | |
| 開講 | | 単位数 | 時間数 | | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | メイク道具 | 出版社 | なし | | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 作品づくりに意欲的に取り組み、既存の技術プラス新しい発想を持てる力を身に付ける | | | | |
| 到達目標 | 今まで得た知識をもとに様々なジャンルのメイクに挑戦し、現場で役立つ技術を習得する | | | | |
| 評価基準 | テスト40%、作品作り40%、提出物20% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の2/3以上であること、成績が2以上であること | | | | |
| 関連資格 | 美容国家試験 | | | | |
| 関連科目 | コンテストメイクⅠ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------|---------------------------------|
| 1 | メイク基本・復習 | ベースメイクやアイブロウ苦手意識の強い所の基礎を復習し実践 |
| 2 | | |
| 3 | 雑誌メイク | 3人1チームでどのジャンルの雑誌か選択し、表紙・特集ページ作成 |
| 4 | | |
| 5 | メイク提案 | ペアになって似合うメイクを提案し実践 |
| 6 | | |
| 7 | トレンドメイク | 2026年秋冬のトレンドメイクデッサン・実践・撮影 |
| 8 | | |

| | | |
|----|------------|---------------------------|
| 9 | エイジングケアメイク | エイジングケアメイク知識・おすすめ商品の勉強 |
| 10 | | |
| 11 | 卒業制作 | テーマを決めて、デッサン・実践・撮影（ウィッグに） |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | 筆記まとめ | 筆記まとめ |
| 15 | コスメ紹介 | おススメコスメをレポートにまとめ発表 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------|--------|------------|-------------|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 美容総合テクニックⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容総合テクニックⅠ | | |
| 開講 | | | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | 美容技術理論1、美容実習1 | | 出版社 | 日本理美容教育センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | 美容師の基本的な技術、サロンワークでの知識を身につける | | | | |
| 到達目標 | 美容師としての基本的な技術、サロンワークでの知識を身につけ実践できるようになる | | | | |
| 評価基準 | 実技30%、作品提出30%、テスト30%、忘れ物10% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の2/3以上であるもの、成績が2以上であるもの。 | | | | |
| 関連資格 | 美容国家試験 | | | | |
| 関連科目 | 美容総合テクニックⅡ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 板橋 喜子 他1名 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | 仙台市内サロンにてスタイリストとして勤務。現在個人サロン経営。専門学校にて実習、保健指導 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------|-------------------|
| 1 | ワンレングス① | ベースカット |
| 2 | ワンレングス② | 全頭カット |
| 3 | ワンレングス③ | 前下がりのり、前上がりのり |
| 4 | カラーリング① | カラー目的説明、塗布の仕方 |
| 5 | カラーリング② | 塗布練習 |
| 6 | カラーリング③ | ブリーチ塗布 |
| 7 | カラーリング④ | カラー塗布 |
| 8 | ウィッグ作成① | デッサン（イメージ、展開図を描く） |
| 9 | ウィッグ作成② | カラーリング |

| | | |
|----|----------|--------|
| 10 | ウィッグ作成③ | メイク |
| 11 | グラデーション① | ベースカット |
| 12 | グラデーション② | 全頭カット |
| 13 | 作品作り① | カット |
| 14 | 作品作り② | カラーリング |
| 15 | 作品作り③ | 仕上げ、発表 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---------------|--------|------------|-------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | 美容総合テクニックⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容総合テクニックⅡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 30 |
| 使用教材 | 美容技術理論Ⅰ、美容実習Ⅰ | | 出版社 | 日本理美容教育センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---------------------------------------|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容師の基本的な技術、サロンワークでの知識を身につける | | | | |
| 到達目標 | 美容師の基本的な技術、サロンワークでの知識を身につけ、実践できるようにする | | | | |
| 評価基準 | まとめテスト20%、総まとめテスト50%、態度20%、忘れ物10% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間の3分の2以上であること、成績が2以上であるもの | | | | |
| 関連資格 | 美容国家試験 | | | | |
| 関連科目 | 美容総合テクニックⅠ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|-----------|---------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション | 授業の流れ、到達目標について |
| 2 | シャンプーⅠ-① | シャンプーの目的説明、クロスの付け方、ブラッシング、タオルターバン、ブロー |
| 3 | シャンプーⅠ-② | サイドシャンプー手順説明、お流し、マッサージ |
| 4 | シャンプーⅠ-③ | お流し、サイドシャンプー、マッサージ |
| 5 | シャンプーⅠ-④ | |
| 6 | まとめテスト | お流し、サイドシャンプー、マッサージ手順 |
| 7 | シャンプーⅡ-① | バック1シャンプーのお流し、手順説明 |
| 8 | シャンプーⅡ-② | バック2シャンプーの手順説明 |

| | | |
|----|------------|-------------------------|
| 9 | シャンプーⅡ - ③ | お流し、バック2シャンプー、マッサージ、ブロー |
| 10 | シャンプーⅡ - ④ | |
| 11 | シャンプーⅡ - ⑤ | |
| 12 | シャンプーⅡ - ⑥ | |
| 13 | 総まとめ | お流し、バック2シャンプー、マッサージ手順 |
| 14 | 振り返り | 実技まとめの振り返り、復習 |
| 15 | 国家試験対策 | 実技練習 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|--|--------|----------|---------------------|----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | プロアクティブⅠ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | プロアクティブⅠ | | |
| | | 開講 | 単位数 | 時間数 | |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 2 | 60 |
| 使用教材 | 保健 ワークブック 化粧品化学 ABE Eyelash extensionsテキスト まつ毛技術道具一式 | | 出版社 | 公益社団法人 日本理容美容教育センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--|------|---|--|--|
| 授業のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・保健 お客様の容姿の最も重要な部分である頭部の総合的なデザインができる美容師を目指す ・まつ毛エクステンション 技術者としての基礎技術、道具の取り扱いを身に付ける ・化粧品化学 化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を身につける 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得を図る | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健 人の美の源泉である「身体的な健康」について、人体の解剖学的な構造や生理学的な機能に関する理解を深め、特にお客様一人一人の頭皮、毛髪、爪、肌の健康管理ができる正しい知識と技術を習得する ・まつ毛エクステンション 理論、実技を通し、安心安全に出来る技術を習得する ・化粧品化学、美容の業務に関する規定内容やその意義を正確に理解できる | | | | |
| 評価基準 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健・化粧品化学 小テスト・テスト：80% 授業態度・出席率：20% ・まつ毛エクステンション 授業態度：30% テスト：30% 小テスト：20% 作品制作：20% | | | | |
| 認定条件 | 保健、化粧品化学 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者 まつ毛エクステンション 実技20時間、座学15時間以上 | | | | |
| 関連資格 | <ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家資格 ・ABE Eyelash extensions検定 (筆記、実技60点以上で検定取得) | | | | |
| 関連科目 | 美容知識Ⅱ-Ⅰ・美容知識Ⅱ-Ⅱ コンテストメイクⅠ・コンテストメイクⅡ | | | | |
| 備考 | <p>原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>※前期（保健1コマ、まつ毛エクステンション2コマ、化粧品化学1コマ） 後期（まつ毛エクステンション2コマ、化粧品化学1コマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健 前期1コマ×15週 ・まつ毛エクステンション 前期2コマ×15週 後期2コマ×15週 ・化粧品化学 前期1コマ×15週 後期1コマ×15週 | | | | |
| 担当教員 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健 板橋喜子 ・まつ毛エクステンション 細谷恵子 ・化粧品化学 加藤比紗子 | 実務経験 | ○ | | |
| 実務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・板橋 喜子 仙台市内サロンにてスタイリストとして勤務。現在個人サロン経営 ・細谷 恵子 大手ブライダル企業にてブライダルヘアメイク担当 ・加藤比紗子 中学、高等学校、理科講師。日本化粧品検定コスメコンシェルジュ。 | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

| 各回の展開 | | |
|-------|---|---|
| 回数 | 単元 | 内容 |
| 1 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 道具の名前 表示について | 【座学】 道具の名前、表示について、道具の説明・セッティング |
| 2 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第2章 骨格器系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学・実技】 まつ毛エクステンションとは | 【座学・実技】 ツイザー使用について、まつ毛エクステの歴史・概論 |
| 3 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第3章 筋系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 ツイザーの練習（持ち方、動かし方） 紙上で練習 グルーについて パルク | 【実技】 練習（持ち方、動かし方）、紙上で練習 |
| 4 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第4章 神経系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 まつ毛エクステンションの用具 テーピング | 【実技】 姿勢、手の運び練習、道具の距離感、パルクタイプ、少し装着している、テーピング |
| 5 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第5章 感覚器系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学・実技】 ツイザー使用について、紙面、 手の運び、姿勢、リムービング | 【座学、実技】 姿勢、手の運び練習、お客様との距離間、道具配置の動き（距離間）、 先週の続き（リムービング） |
| 6 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第6章 血液・循環器系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写、循環経路図作成 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 ツイザー使用について シートタイプ | 【実技】 姿勢、手の運び練習、道具の距離感 |
| 7 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第7章 呼吸器系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写、経路図作成 |
| | <化粧品化学>復習 | まとめを実施する |
| | まつ毛エクステンション【座学】 衛生管理 | 【座学】 衛生管理について考える、どこにどんな衛生管理が出来るか調べる（道具に対し適格な判断） |
| 8 | <保健>第1編 人体の構造及び機能 | 第8章 消化器系 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写、経路図作成 |
| | <化粧品化学>復習 | 振り返りとまとめを行う |
| | まつ毛エクステンション【実技】 ツイザー使用について、シートタイプ | 【実技】 姿勢、手の運び練習、道具の距離感 |

| | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 9 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第1章 皮膚の構造 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 保健、眼 | 【座学】保健、眼 |
| 10 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第2章 皮膚付属器官の構造 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 ツイーザー使用について | 【実技】ツイーザー使用について、実技はテーピング、20本装着 |
| 11 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第3章 皮膚の循環器系と神経系 ワークブックを参考に要点の抽出 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 前期テスト（実技/座学） | 【座学】実技/座学のテスト、実技はテーピング、20本装着 |
| 12 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 皮膚、毛に関する知識 | 【座学】皮膚、毛に関する知識 |
| 13 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 ツイーザー使用、リムービング | 【実技】ツイーザー使用について、リムービングについて、手順確認 |
| 14 | <保健>第2編 皮膚科学 | 第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ワークブックを参考に要点の抽出、イラスト描写 |
| | <化粧品化学>復習 | まとめを実施する |
| | まつ毛エクステンション【実技】 まつエク装着 | 【実技】まつエク装着 |
| 15 | <保健>第2編 皮膚科学 | 期末まとめ |
| | <化粧品化学>復習 | まとめの振り返りと前期総まとめを行う |
| | まつ毛エクステンション【実技】 復習 | 【実技】セッティング、クレンジング、テーピング、装着、リムービングなど |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---|--------|----------|---------------------|-----|
| 授業形態 | 演習 | 科目名 | プロアクティブⅡ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | プロアクティブⅡ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 45 |
| 使用教材 | 化粧品化学 ABE Eyelash extensionsテキスト まつ毛技術道具一式 | | 出版社 | 公益社団法人 日本理容美容教育センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|------|--|--|
| 授業のねらい | <ul style="list-style-type: none"> まつ毛エクステンション 技術者としての基礎技術、道具の取り扱いを身に付ける 化粧品化学 化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を身に付ける 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得を図る | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> まつ毛エクステンション 理論、実技を通し、安心安全に出来る技術を習得する 化粧品化学、美容の業務に関する規定内容やその意義を正確に理解できる | | | | |
| 評価基準 | <ul style="list-style-type: none"> 化粧品化学 小テスト・テスト：80% 授業態度・出席率：20% まつ毛エクステンション 授業態度：30% テスト：30% 小テスト：20% 作品制作：20% | | | | |
| 認定条件 | 化粧品化学 ・出席が総時間数の3分の2以上ある者・成績評価が2以上の者 まつ毛エクステンション 実技20時間、座学15時間以上 | | | | |
| 関連資格 | <ul style="list-style-type: none"> 化粧品化学 美容師国家資格 ABE Eyelash extensions検定 (筆記、実技60点以上で検定取得) | | | | |
| 関連科目 | 美容知識Ⅱ－Ⅰ・美容知識Ⅱ－Ⅱ コンテストメイクⅠ・コンテストメイクⅡ | | | | |
| 備考 | <p>原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>※前期（保健1コマ、まつ毛エクステンション2コマ、化粧品化学1コマ） 後期（まつ毛エクステンション2コマ、化粧品化学1コマ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健 前期1コマ×15週 まつ毛エクステンション 前期2コマ×15週 後期2コマ×15週 化粧品化学 前期1コマ×15週 後期1コマ×15週 | | | | |
| 担当教員 | | | 実務経験 | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|--|---|
| 1 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 接触皮膚炎、グルーについて | 【座学】アレルギーについて、グルーとは |
| 2 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 カウンセリング（施術中、アフターケア） | 【座学】カウンセリング（施術中、アフターケア）、ペアワーク、一般的なまつ毛デザイン |

| | | |
|----|--------------------------------------|-----------------------|
| 3 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 技術復習 | 【実技】検定対策（装着、テーピング） |
| 4 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 検定対策、タイムトライ(検定対策) | 【実技】検定対策（タイムトライ） |
| 5 | <化粧品化学>復習 | まとめを実施する |
| | まつ毛エクステンション【実技】 マツエク卒業作品作成 ① | ・卒業制作(オリジナル作品作り) |
| 6 | <化粧品化学>復習 | 振り返りとまとめを行う |
| | まつ毛エクステンション【実技】 マツエク卒業作品作成 ② | ・卒業制作(オリジナル作品作り) |
| 7 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【実技】 マツエク卒業作品作成 ③ | ・卒業制作(オリジナル作品作り) |
| 8 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 筆記検定対策 | 【座学】検定対策 |
| 9 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 筆記検定対策 | 【座学】検定対策 |
| 10 | <化粧品化学>復習 | 国家試験過去問の演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【座学】 後期テスト（実技/座学） | 【座学】実技/座学のテスト、実技は30分内 |
| 11 | <化粧品化学>復習 | まとめを実施する |
| | まつ毛エクステンション【実技】 検定対策、タイムトライ(検定対策) | 【実技】検定対策（タイムトライ） |
| 12 | <化粧品化学>復習 | 振り返りと後期総まとめを行う |
| | まつ毛エクステンション【実技・座学】 検定対策 | 【実技・座学】検定対策 |
| 13 | <化粧品化学>復習 | 国試対策 問題演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション【理論】 検定対策 | 【実技】検定対策 準備 |
| 14 | <化粧品化学>復習 | 国試対策 問題演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション 検定 | 【実技】検定 |
| 15 | <化粧品化学>復習 | 国試対策 問題演習と解説 |
| | まつ毛エクステンション 検定 | 【座学】検定 |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----------|--------|-------|------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 就職対策Ⅰ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 就職対策Ⅰ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 就職ガイドブック | | 出版社 | 自校作成 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------|------|--|---|--|
| 授業のねらい | 就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける | | | | |
| 到達目標 | 就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている | | | | |
| 評価基準 | テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | 就職対策Ⅱ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | 田代 三奈 | 実務経験 | | ○ | |
| 実務内容 | スタイリストとして美容室での勤務経験あり | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---------|---------------------|
| 1 | 就職指導の目的 | 就職指導を行う目的を理解 |
| 2 | 企業研究① | ・希望サロンについて調べる |
| 3 | 企業研究② | |
| 4 | 企業研究③ | |
| 5 | 企業研究④ | |
| 6 | 店頭での実践① | ・現場での電話対応を想定し実践する |
| 7 | 店頭での実践② | ・現場での受付の仕方を想定し実践する |
| 8 | 一般常識 | ・一般常識プリント |
| 9 | 目標設定① | ・5年後、10年後の自分の目標を考える |

| | | |
|----|-------------------|------------------------------------|
| 10 | 目標設定② | ・プレゼンテーションに向けて内容をまとめる(5年後、10年後の自分) |
| 11 | | |
| 12 | 前期テスト (プレゼンテーション) | ・プレゼンテーション |
| 13 | | |
| 14 | 前期まとめ (一般常識) | ・前期筆記まとめ |
| 15 | 前期振り返り、後期に向けて | ・前期の振り返りと後期の自身の就職の動きを考える |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----------|--------|-------|------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 就職対策Ⅱ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 就職対策Ⅱ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 就職ガイドブック | | 出版社 | 自校作成 | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|--------------------------------------|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける | | | | |
| 到達目標 | 就職希望サロンを明確にし、内定取得に向けての知識・心構えが身に付いている | | | | |
| 評価基準 | テスト：50% 提出物：30% 授業態度：20% | | | | |
| 認定条件 | 出席が総時間数の3/2以上ある者 成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家試験 | | | | |
| 関連科目 | 就職対策Ⅰ | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------------|--|
| 1 | 初回導入 | 教員紹介・授業の概要 |
| 2 | お金の基礎知識 | 給与・明細・税金等の基礎知識 |
| 3 | 消費者心理① | ファイブウェイポジショニング 理論+ワークシート(自分の消費動向に当てはめる) |
| 4 | 消費者心理② | お客様のホンネ(動画視聴+意見交換) |
| 5 | 職場でのコミュニケーション① | アサーティブコミュニケーション |
| 6 | 職場でのコミュニケーション② | 会話・質問の仕方 |
| 7 | 就労規則と用語について | 基礎的な規則・用語を理解する |
| 8 | 年賀状 | 年賀状の書き方、内定先への年賀状作成 |
| 9 | まとめ対策(総復習) | まとめ範囲の復習 |

| | | |
|----|-------------|----------------|
| 10 | まとめ・授業アンケート | まとめ |
| 11 | 入職準備 | 初日の挨拶、注意点について |
| 12 | 退職マナーについて | 退職時の注意点や手順について |
| 13 | 総復習 | サロンで必要な知識 |
| 14 | | |
| 15 | | |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|---|--------|----------|--------------------------|-----|
| 授業形態 | 実技 | 科目名 | 美容ベーシックB | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容ベーシックB | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 3 | 90 |
| 使用教材 | ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・ カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート | | 出版社 | 公益財団法人 理容師美容師試験研修センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|--|--|------|--|
| 授業のねらい | 美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する | | | | |
| 到達目標 | 美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する | | | | |
| 評価基準 | 総まとめ40% まとめ30% 授業態度30% | | | | |
| 認定条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家資格（実技） | | | | |
| 関連科目 | 美容ベーシックA-I・II | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 | | | | |
| 担当教員 | | | | 実務経験 | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|----------------------|----------------------------------|
| 1 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 2 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 3 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 4 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 5 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 6 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 7 | 国家試験第1課題・第2課題 まとめ | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する |
| 8 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |

| | | |
|----|-----------------------|-----------------------------------|
| 9 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 10 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 11 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 12 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 13 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 14 | 国家試験第1課題・第2課題 | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 |
| 15 | 国家試験第1課題・第2課題 総まとめ | 国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する |

シラバス

科目の基礎情報①

| | | | | | |
|------|----------|--------|-------|-----------------|-----|
| 授業形態 | 講義 | 科目名 | 美容知識Ⅴ | | |
| 必修選択 | 選択 | (学則表記) | 美容知識Ⅴ | | |
| 開講 | | | | 単位数 | 時間数 |
| 年次 | 1年 | 学科 | 美容研究科 | 1 | 15 |
| 使用教材 | 文化論/運営管理 | | 出版社 | 社) 日本理容美容教育センター | |

科目の基礎情報②

| | | | | | |
|--------|---|------|--|--|--|
| 授業のねらい | 将来、美容師として活躍する人のベースとなる『美』について学ぶ 美容に関わる歴史を学び、歴史・習慣の中から生み出され求められる美しさを知る 美容経営者として活躍するうえで必要とする知識の基礎を理解する | | | | |
| 到達目標 | 概要に基づいて、美容の歴史を習得する 美容師国家試験に合格できる知識を習得 自信で生活の中から知識や理論を深める事ができる | | | | |
| 評価基準 | 小テスト・テスト：70% 授業態度：30% | | | | |
| 認定条件 | ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 | | | | |
| 関連資格 | 美容師国家資格 | | | | |
| 関連科目 | | | | | |
| 備考 | 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ※運営管理授業6回実施後、運営管理まとめ1回、文化論6回実施、まとめ1回、15回目授業習得度確認（運営管理、文化論） | | | | |
| 担当教員 | 水谷 守 | 実務経験 | | | |
| 実務内容 | | | | | |

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

| 回数 | 単元 | 内容 |
|----|---|----------------|
| 1 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 社会保険① |
| 2 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 年金 |
| 3 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 医療① |
| 4 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 医療② |
| 5 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 介護 |
| 6 | <運営管理> 第2編 人という資源 従業員としての視点 第3章 従業員としての視点から | 労災 |
| 7 | まとめ | 授業習得度の確認(運営管理) |

| | | |
|----|--|--|
| 8 | <文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治時代） | 明治時代・髪型について国試対策① |
| 9 | <文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（大正・昭和20年まで） | 明治時代・化粧・服装について国試対策① 大正時代・髪型・化粧・服装について国試対策② |
| 10 | <文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代） | 昭和20年代（戦前）と1945年～髪型・化粧・服装について国試対策③ |
| 11 | <文化論> 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節 | 1950～1960年代の髪型・化粧・服装について国試対策④ |
| 12 | <文化論> 第3章ファッション文化史日本編 まとめ | 1970年代～1980年代の髪型・化粧・服装について国試対策⑤ |
| 13 | <文化論> 第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 | 和装・洋装の礼装について国試対策⑥ |
| 14 | まとめ | まとめ（文化論） |
| 15 | まとめ | まとめ（運営管理、文化論） |